



## 少子化時代と共に乗り越えるために

(私学協会総会挨拶より)

理事長 長谷川 了

発行者  
学校法人聖隸学園  
聖隸クリストファー大学・大学院  
聖隸クリストファー高等学校  
〒433-8558  
浜松市三方原町3453  
電話 053(436)5311  
<http://www.seirei.ac.jp>

聖句

モーセという人はこの地上の  
だれにもまさつて謙遜であつた。

(民数記 十二章三節)

### 聖書のことば

「モーセという人はこの地上の  
だれにもまさつて謙遜であつた。」

  
宗 教 主 任  
聖隸学園宗教主任  
聖隸クリストファー大学 教授  
鈴木 崇巨

四月から静岡県私学協会の会長に就任しました。当面する課題は少子化対策と入試改革です。この課題は岡本前会長から私に引き継がれた課題となりました。平成元年に五万六千七百人いた高校入学者は平成十八年には三万四千二百人となりました。約四十パーセント、一万二千五百人の入学者が減りました。この数は今年の私学入学者一万千三百人の二倍の数にあたります。少子化は私学に大きな影を落としていることを理解いただけます。

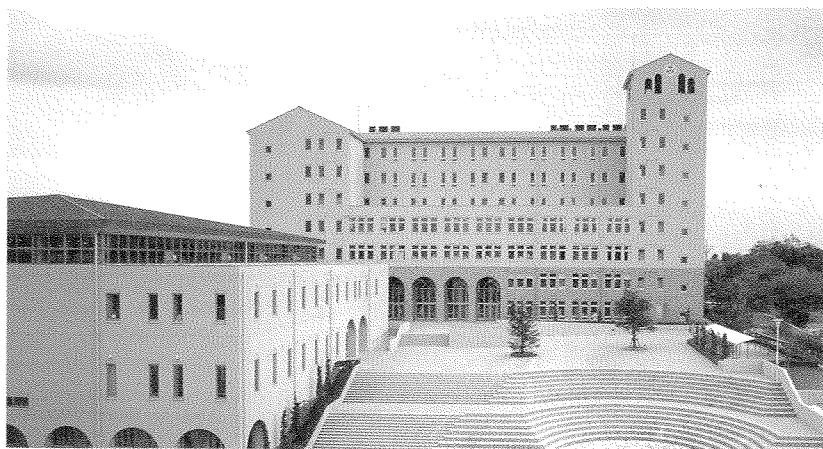
静岡県におきましては急増期から急減期の長い間、公立と私立が二対一の割合で高校進学者を受け入れてきました。平成十五年に静岡県の企画部が費用対効果という考え方を基にして、「私学は公私二対一の比率で定員を減らさなくてよろしい、そしてこの自由枠を公立と私立、私立と私立が互いに自由競争して、より良いものを目標に切磋琢磨することが大切だ」という提案をいたしました。そして平成十六年度から私学は募集定員を原則固定してきました。

このことは別の意味で私学にとつて大変大きい良い効果をもたらしたと私は考えています。静岡県の私学の過半数は既に入学定員が三百人を割っています。現状の教育経費などの支出と授業料と補助金などの収入からは損益の分岐点は入学者数が約三百人となつていることを考へると、これ以上公私二対一で入学者の定員を減らしていくと、実質的には規模の小さな学校から経済的に破産宣告をしていくことになってしまいます。定員を固定することができたことによって、規模の小さい学校も努力と工夫によって生き残り、将来に希望を持つて教育に当たることが出来ることです。結果として県の企画部から大変良い提案をいただきました。

平成十八年度の入試改革について申し上げます。従来の一次入試と二次入試の方法に加えて、一次入試で単願者の入試と併願者の入試を行なう方法のいずれかを選択することが出来るようになります。この制度を導入するに当たって、二つのことを考えました。まずどの学校も他の私学の立場に立つて、定員をオーバーして他の私学に迷惑をかけないことです。補欠合格制度を導入しても定員を厳守しなければならないことです。私学間の競争は量的競争は止めて、質的競争のみに限ることです。二つ目は受験生の立場に立つて、中学浪人を出さないための最大限の努力をすること、そのため定員を満たしていないすべての学校は第三次試験、従来の呼び方では再募集を行なうことです。このことによつて中学生が必要以上の不安を持たずに存分に十五歳の挑戦をしていただくことが出来ることがあります。実力にあつた高校を選んでいただきるのであれば最終的には行きたい学校に入学できることになります。

平成十九年度入試からは募集定員を廃止して学則定員をもつて募集定員とします。これは補助金を始め、いくつかのことで私学間に不公平をもたらしています。過去の既得権による弊害もあります。私が偶像を作つて拝んでいた様子を見て烈火のごとく怒り、手に持つていた「十戒」の刻まれた石の板を地面にたたきつけました。ひどたび怒るところのいい人でした。しかし、彼はこの地上でもっとも柔軟な人物だったのです。謙遜という言葉はヘブライ語では柔和とも訳されます。心の柔軟さは謙遜な行動となつて表れます。

モーセよりもつとも柔軟で謙遜な御方がおられました。それはイエス・キリストでした。家畜小屋に生まれ十字架上に死なれました。



## 第四十一期生を迎えて

校長 茂田 勇

四月六日、第四十一回入学式が行われました。高校生活への決意を述べてくれた新入生代表高橋秀和君の言葉をはじめとして、厳粛な中にも感動的な入学式であつたと思います。新入生は二百四十名でしたが、その中には五十三名（一クラスマ）の英数科の生徒が含まれています。英数科としては第一期生になります。

期生としての自覚を持つて努力を重ね、大きく成長してほしいと願っています。

●「育てたい生徒像」と二学科制  
二〇〇六年度は、「躍進プラン」（本校の長期計画）の三年目に当たり、現在、さまざまな改革・改善が進行中であります。プランの中には、「育てたい生徒像」が明記されています。

①真剣に学び、目標達成に向けてひたむきに努力する生徒

②豊かな感性を身に付け、人のために役立つ事を大切にする生徒

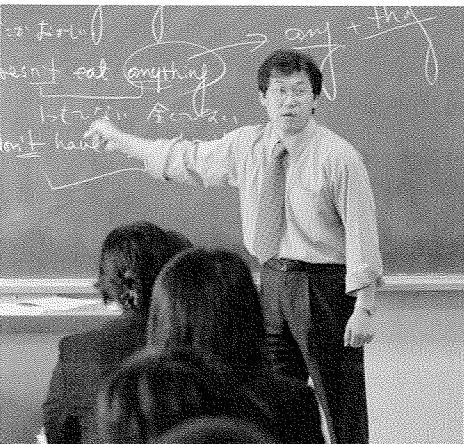
③生徒会活動、部活動、ボランティア活動等に積極的に取り組む生徒

④広い視野と国際感覚を身に付ける生徒  
⑤高い志を持ち、将来、医療・福祉等の分野で活躍しようとする生徒

この五項目が「育てたい生徒像」であります。英数科の設置意図もこの「育てたい生徒像」の実現、すなわち人のために役立つ人材の育成にあります。

英数科の設置により本校の教育システムは本年度の一年生から、学年進行で二学科制（英数科と普通科）に移行していくます。二〇〇六、二〇〇七年度の二年間は、コース制による従来の制度と新制度が共存し、二〇〇八年度が二学科制の完成度になりますが、新旧の制度ともに目指すところは同じであり、「育てたい生徒像」の実現であります。

●「満足したお客様はベストセールスマン」  
ピザパイの宅配会社を創業した若手起業家の言葉です。学校経営を考える上で



①授業の充実  
本年度、最も力を入れるのは「授業の充実」であります。授業の充実は教える側の熱意と教科指導力、そして学ぶ側の真剣な姿勢、その両方が備わった時に成就します。「チャイムからチャイムまで」を含む言葉に四十五分・七時間授業の導入、公開授業週間や研究授業の実施、学習法の指導、週末課題等による家庭学習習慣の定着などさまざまな取り組みを始めました。

②部活動の充実  
高校教育の基本・土台は授業であります。部活動も人格形成上とても大切ですが、これに続く部活動の充実にも力を入れ始めました。初めて公式戦に出場した女子サッカー部、創部二年目で県大会出場を果たした放送部、同好会としてスタートする女子ソフト、ソフトテニス、囲碁・将棋等、既設の部活を含めて活動を活発にしたいと思います。  
この他にも、「看護・福祉・リハビリ特別プログラム」の推進など、満足感に結びつくいろいろな取り組みが始まっています。本校の教育活動に温かいご支援をお願いします。



大切なヒントがこの言葉の中にはあります。一人ひとりの学力を伸ばし、人間力を育て、進路を実現させて送り出すことが満足感につながり、その満足感が本人や保護者を通して地域社会に伝わることで、学校への信頼や確かな評価が得られる考え方です。そのための取り組みを二つほど記します。

## ◆2005年度進路状況の考察・評価及び2006年度進路展望

副校長 鈴木 智之

### “聖隸クリリストファー全国有名私立高校456校に仲間入り”

4月発行のサンティー毎日で、全国有名私立高校の有力大学合格者数が発表されました。静岡県からは13校が選ばれ、聖隸クリリストファー高校も掲載されました。2006年度の大学合格実績が評価されたからです。

別表の進路結果をご覧ください。早稲田、慶應などを除く東京の有力私立大学をMARCH(明治・青山・立教・中央・法政)と呼びますが、聖隸クリリストファー高校は、13名合格。関西の有名私立大学の関関同立(関西・関西学院・同志社・立命館)には、43名合格しています。

### “全国4964校の264位にランクされる”

また、“この10年で伸びたベスト300校”も発表され、本校も246位に、全国規模で評価されました。難関国立大2、理科大5、MARCH13、関関同立43の63名増は、さらなる飛躍をめざす聖隸クリリストファー高校の第一歩となりました。

### “国公立大学現役合格者20名に、さらなる飛躍を期す”

2006年度の大学入学センター試験で、聖隸クリリストファー高校は、平均627点(900点満点)で、県内16位(公立・私立を含む)でした。この結果を受けての国公立合格者は20名で昨

年の8名を大きく上回りました。

また、特筆すべきことは国公立大学合格率は、63.6%で県内トップクラスだったことです。そして、何よりもうれしいことは、ほぼ全員が第一志望の学部に合格出来たことと、北海道大学と名古屋大学に合格した生徒は、塾にも予備校にも行かないでクリリストファー高校の勉強だけで初志を貫徹したことです。このすばらしい成果は、規則正しい生活規律の確立と日々の授業、課外授業、土曜講座などの積み重ねによるものです。

さらに、聖隸クリリストファー大学との高大連携を最大の特色とする本校ですが、卒業生の11.5%にあたる27人が聖隸クリリストファー大学に合格しました。今年度から大学の先生方に本校生徒が指導を受ける“看護・福祉・リハビリ特別プログラム”も始まります。3学部の勉強内容を深く理解することで、大学と高校との連携が、いっそう強まって行くものと思います。

自分の目標を実現できる高等学校、それこそが地域の皆様が一番望む「魅力ある学校」だと思います。本年度から英数科もスタートしました。さらなる飛躍をめざして、今聖隸クリリストファー高校は大きく動き始めました。どうぞ皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

### ●主な大学合格実績(2006年度入試)

#### ◎国公立大学

大学	人数 ( )内は過年度生
北海道大学	1
北見工業大学	1
青森県立保健大学	1
高崎経済大学	1
茨城大学	1
首都大学東京	2
富山大学	1
富山県立大学	1
金沢大学	1
福井県立大学	0(1)
山梨大学	1
静岡大学	3(1)
静岡県立大学	1
名古屋大学	1
三重大学	1
三重県立看護大学	1
香川大学	1
宮崎公立大学	1
合計	20(2)

※参考 2005年3月  
国公立大学合格者数  
(過年度生を含む) 9

大学	人数 ( )内は過年度生
立教大学	1
中央大学(法学部他)	3
法政大学	2
明治学院大学	2
日本大学	8
専修大学	2
獨協大学	2
芝浦工業大学	1
神奈川大学	3
文教大学	2
創価大学	1
帝京平成大学	2
東京経済大学	0(1)
常磐大学	1
聖隸クリリストファー大学	27
静岡文化芸術大学	1
静岡英和学院大学	1
静岡産業大学	3
静岡理工科大学	5
浜松大学	6
浜松学院大学	1
南山大学	4
愛知医科大学	1
愛知大学	1
中京大学	2
名城大学	2
愛知学院大学	3
愛知淑徳大学	2
名古屋外国語大学	2
愛知工業大学	0(1)

大学	人数 ( )内は過年度生
愛知産業大学	1
堀山女学園大学	1
日本福祉大学	0(3)
東海学園大学	3
名古屋芸術大学	2
鈴鹿医療科学大学	1
岐阜聖徳学園大学	3
岐阜医療科学大学	1
中部大学	6
皇學館大學	1
東海女子大学	1
岐阜女子大学	3
金沢工業大学	1
同志社大学	5
関西学院大学	13
立命館大学	16
関西大学	11
関西外国语大学	1
京都外国语大学	1
近畿大学	2
同志社女子大学	2
桃山学院大学	1
神戸海星女子学院大学	1
第一福祉大学	1
合計	181(7)

※参考 2005年3月  
私立大学合格者数  
(過年度生を含む) 148

#### ◎私立大学

大学	人数 ( )内は過年度生
杏林大学(医学部医学科)	1
国際基督教大学	1
東京理科大学	5
明治大学	3(2)
青山学院大学	2

大学	人数 ( )内は過年度生
名城大学	2
愛知学院大学	3
愛知淑徳大学	2
名古屋外国語大学	2
愛知工業大学	0(1)

## 大学院修士課程の現状と 博士課程開設に向けての準備状況

魅力ある大学院教育の構築に向けて

学長 深瀬 須加子

本学大学院修士課程は、一九九八(平成十)年に大学院看護学研究科、二〇〇四(平成十六)年に社会福祉学研究科を開設し、本年度二〇〇六(平成十八)年リハビリテーション科学研究科を開設いたしました。

現在は、博士課程について二〇〇八(平成二十)年度開設を目標に計画を進めています。今回の第三十一号学園報では、大学院修士課程の現状と博士課程開設に向けての準備状況について、まとめていただきました。

本学は教育研究の目指す目標の一つに静岡県の保健・医療・福祉の質の向上に貢献することを掲げ、今まで教育研究の高度化を図り、その進展に努めてきました。看護学部開設後六年目、看護学研究科(修士課程)を開設した一九九八年当時、大学院教育は従来からの研究者養成に加え、高度専門職業人の育成という潮流が強くなりつづきました。現在、本大学が設置している修士課程、看護学研究科、社会福祉学研究科及びリハビリテーション科学研究科の分野においても、時代の経過とともに高度専門職業人の育成の役割が濃くなってきており、看護学研究科に今年度から新たに設けたガン専門看護師(CNS)コースもその一つと言えます。

保健・医療・福祉系の大学院の学生の多くがそうであるように、本学においても臨地・臨床等の現場経験を経て入学する人がほとんどで、看護学研究科に在籍する院生の入学前の職業をみると、大学、

短期大学あるいは専門学校の看護教育職が約五十四%、看護師、保健師が三十六%、その他が本学学部新卒者となつておられます。看護職の割合は二〇〇一年度に有職者のための長期在学コース(三年)と夜間開講を併合して以来徐々に増加傾向にあります。大学院修了後は、そのまま現職を継続する人、看護職から教育職に転身する人、また研究成果を得て訪問看護や地域保健活動など新たな分野に挑戦し、活躍する人などさまざまです。

社会福祉学研究科では、開設来三年間の入学者は、一名を除き全員が福祉現場の専門職で、施設管理職の入学者も目立ちます。また今年度開設したりハビリテーション科学研究科の第一期生は、理学療法学系、作業療法学系ともに臨床現場からの入学者が七十%を占めています。三研究科入学生に共通する入学動機は、日頃職場で感じている疑問を理論的に解明し、自分の課題を深め、自身の能力を高めることにより、現場の支援、援助活

### 聖隸クリストファー大学《Seirei Christopher University》

	看護学研究科・看護学部 School of Nursing	リハビリテーション科学研究科・リハビリテーション学部 School of Rehabilitation Sciences	社会福祉学研究科・社会福祉学部 School of Social Work
<b>博士後期課程《Doctoral Program》</b>			
研究科	保健科学研究科 Health Sciences		
分野 (学位)	看護学分野 博士(看護学) ※学位英語名未定	リハビリテーション科学分野 博士(リハビリテーション科学) ※学位英語名未定	社会福祉学分野 博士(社会福祉学) ※学位英語名未定
<b>修士課程《Master's Programs》</b>			
研究科 (学位)	看護学研究科 M.S. in Nursing	リハビリテーション科学研究科 M.S. in Rehabilitation Sciences	社会福祉学研究科 Master of Social Work
分野 (看・社) 系 (リハ)	基礎看護学分野 Area of Study : Fundamental Nursing 地域看護学分野 Area of Study : Community Health Nursing 成人看護学分野 Area of Study : Adult Nursing 母子看護学分野 Area of Study : Maternity and Child Nursing	理学療法科学系 Physical Therapy 又は Division of Physical Therapy  作業療法科学系 Occupational Therapy 又は Division of Occupational Therapy  言語聴覚療法科学系 Speech-Language-Hearing Therapy 又は Division of Speech-Language-Hearing Therapy	社会福祉臨床分野 Area of Study : Clinical Social Work
<b>学士課程《Undergraduate Programs》</b>			
学部	看護学部 School of Nursing	リハビリテーション学部 School of Rehabilitation Sciences	社会福祉学部 School of Social Work
学科	看護学科 Department of Nursing	リハビリテーション学科 Department of Rehabilitation Sciences	社会福祉学科 Department of Social Work
専攻 Division		理学療法学専攻 Division of Physical Therapy 又は Physical Therapy  作業療法学専攻 Division of Occupational Therapy 又は Occupational Therapy  言語聴覚学専攻 Division of Speech-Language-Hearing Therapy 又は Speech-Language-Hearing Therapy	社会福祉専攻 Division of Social Work  介護福祉専攻 Division of Care Work

動の向上を図ることにあります。大学院生たちが学修、職場、家庭と、何足ものわらじを履き奮闘する姿に、我が国の保健・医療・福祉の明るい将来を見ます。専門教育の質の向上、専門職の社会的評価の向上、看護学、社会福祉学ならびにリハビリテーション科学の発展に寄与するという本学大学院の目的と合わせて、修士課程における教育研究は着実に地域に根を張り始めていると言えましょう。

ところで、本学はこの四月から大学の英語表記をカレッジからユニバーシティに変更しました。看護、社会福祉、リハ

ビリテーションの三学部の上にそれぞれ健・医療・福祉の明るい将来を見ます。専門教育の質の向上、専門職の社会的評価の向上、看護学、社会福祉学ならびにリハビリテーション科学の発展に寄与するという本学大学院の目的と合わせて、修士課程における教育研究は着実に地域に根を張り始めていると言えましょう。

ピリテーションの三学部の上にそれぞれ健・医療・福祉の明るい将来を見ます。専門教育の質の向上、専門職の社会的評価の向上、看護学、社会福祉学ならびにリハビリテーション科学の発展に寄与するという本学大学院の目的と合わせて、修士課程における教育研究は着実に地域に根を張り始めていると言えましょう。

大学としての基盤が固まりつつあることに配慮したものです。その教育研究組織は看護学、社会福祉学及びリハビリテーション科学の三つのスクールから成り、各スクールはアンダーラージュエイトプログラムとしての学士課程(学部)と、グラジュエイトプログラムとしての修士課程を設置しているという考え方を探り、名実ともにユニバーシティの完成に向かって、本学が現在取り組んでいるのが、グラジ

課程の設置です。

大学院博士(後期課程については、二〇〇八年度開設に向けて準備が進んでおり、二〇〇七年六月に文部科学省へ申請書類を提出し、認可されることが必要です。昨年九月から計五回準備会議を行つており、その中では、大学院博士後期課程の名称、設置の必要性、教育課程の編成の考え方及び特色などについて検討を行つてきました。本学の使命は質の高い保健・医療・福祉の専門職を地域に送り出し、地域社会の保健・医療・福祉の質向上させることにあります。今後、この保

程の名称、設置の必要性、教育課程の編成の考え方及び特色などについて検討を行つてきました。本学の使命は質の高い保健・医療・福祉の専門職を地域に送り出し、地域社会の保健・医療・福祉の質向上させることにあります。今後、この保

健・医療・福祉のサービス提供者がチームを組み、協働連携して総合的なチームケアの推進に資するには本学の持つ3つ修業課程を発展させた総合的な博士課程であります。その教育研究が必要と考えます。そのことが本学の使命を具現化し、さらには一人ひとりの幸せと命を守ることにつながるものと考えます。また静岡県の地域特性に即した保健・医療・福祉分野に関する学際的研究を開拓し、地域社会との連携を深めるとともに、研究成果を県民に還元し、静岡県の保健・医療・福祉の質的向上およびサービスの底上げをすることはも

ひとつの幸せと命を守ることにつながるものと考えます。また静岡県の地域特性に即した保健・医療・福祉分野に関する学際的研究を開拓し、地域社会との連携を深めるとともに、研究成果を県民に還元し、静岡県の保健・医療・福祉の質的向上およびサービスの底上げをすることはも

看護学部は開設十五年目を迎えるました。全国で十二番目にできた看護系の大学です。一九九〇年代後半に当時の日本看護協会長は、二〇〇〇年までに全国百大学で看護教育を行いたいという目標を掲げました。長い間専門学校が看護教育の大多数を占めてきたことを考えると、実現可能とは思えませんでしたが、実に二〇〇六年現在百四十三大学で看護教育が行われるようになりました。今後もさらに増え続ける勢いです。こうした中で、本学は開設以来一貫して大切にしてきたものがあり、社会のニーズに応えてより高い質を備えた看護専門職育成に向けて改革を続けてきました。看護の基礎教育の上に大学院修士課程ができ、博士課程も着々と準備が進められ、看護の専門性を深く追求していく学問の場としての大学の充実が図

## 看護学部のこれから展望

看護学部長 中野 照代

看護学部としての道を開こうとしています。聖隸クリリストファー大学看護学部が多くの看護系大学の中で特筆すべきことは何か、これからどのような大学に向かって歩みを進めていくこうとしているのかを以下に述べてみたいと思います。

①開学以来大切にしてきたものとして第一にあげられるのは、聖隸の起源に遡る隣人愛の具現化です。学生の多くが入学時には隣人愛という建学の精神に素朴に惹かれ、それは憧れに近い感情だったかもしれません。四年間の学びの中で隣人愛の精神が看護という専門的な活動の中でどのように活かされるかを深く考える機会があります。そしていつの間にか看護と隣人愛は体の奥に一体となつて看護の技になっていく。教員はそのように

看護は育つことを願つて日々教育に力を尽くしています。

②三学部が一つのキャンパスで学ぶ意味は大きいものがあります。社会福祉や専攻科としての道を開こうとしています。聖隸クリリストファー大学看護学部が多くの看護系大学の中で特筆すべきことは何か、これからどのような大学に向かって歩みを進めていくこうとしているのかを以下に述べてみたいと思います。

③聖隸クリリストファー大学は幸いに聖隸二病院をはじめ、優れた実習施設、実習指導者に恵まれています。大学と実習施設との連携の中で、確かな実践力を持つた看護職育成という目標を共有し、次

の世代を育てる事ができる環境にあります。今後ますますその連携を強め、教育・研究において共に発展していくことを目指しています。

④臨床看護、介護・養護施設における看護、訪問看護、あるいは地域、職域、学校に生活し、働き、学んでいる人々の健康課題に取り組む保健活動など、看護職として働く場は様々に広がっています。大学で学んだ基礎的な知識技術は卒業後それぞれの場でその芽を伸ばし、卒業生はそのキャリアを積んで多様な個性を育んでいます。そのような卒業生に対して聖隸クリリストファー大学は今、生涯教育の場としての多くの道筋を準備しています。がん看護など専門分野における高度の専門職を目指した専門看護師や、助産師の資格を得るために、あるいは研究的関心を実践の中から見出し、大学院で再び学ぼうとする卒業生を迎え、看護学部は更なる発展の時期を迎えています。

もちろん、今後大きく変化し多様化する社会において指導的立場に立ち、多角的に修得した思考と知識及び技術を集結させ、社会に貢献できる高度な能力をもつた人材の養成を行つていきたい考えです。

### ◆人的ネットワーク化と保健科学研究実践センター(仮称)構想

新たに設置を計画している大学院博士後期課程では、地域における保健・医療・福祉の研究拠点となるべく「保健科学研究実践センター(仮称)」の設置を計画しています。これにより本学園の周辺に点在し密接な関係を持つ、聖隸グループを中心とした医療・福祉の向上を図りたい考えです。

## ◆ 2005年度決算および2006年度予算の概要 ◆

【表1】

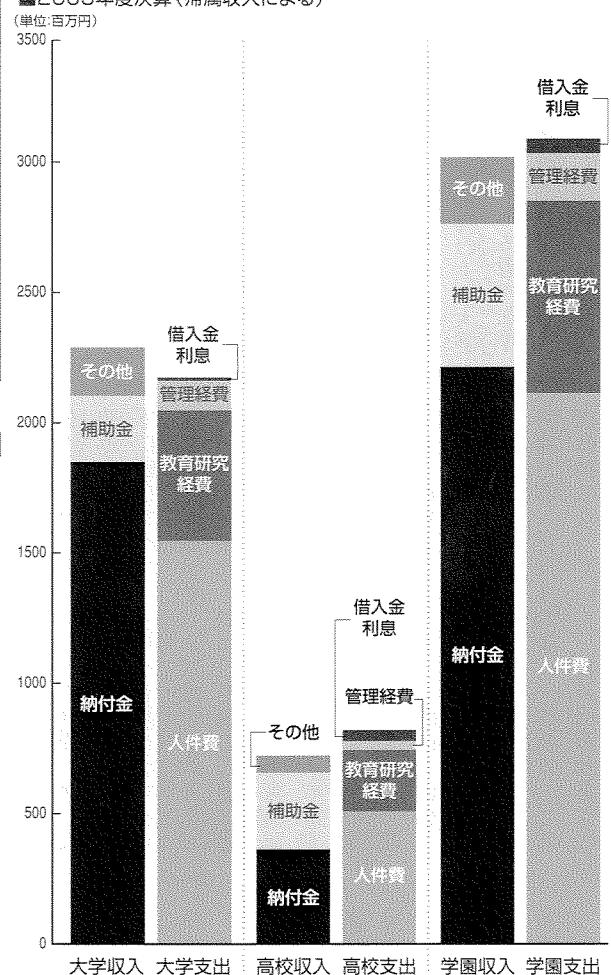
	2005年度決算			2006年度予算		
	大学	高等学校	学園合計※2	大学	高等学校	学園合計※2
消費 収入の部	学生生徒等納付金	1,850,117	382,570	2,212,687	1,912,023	347,886
	補助金	254,500	294,146	548,646	373,104	262,267
	その他	185,798	66,115	256,581	72,964	24,737
	帰属収入合計	2,290,414	722,832	3,017,914	2,358,091	634,890
消費 支出の部	基本金組入額※1	△14,434	△112,647	△133,251	△145,545	△95,372
	消費収入の部合計	2,275,980	610,185	2,884,663	2,212,546	539,518
	人件費	1,546,277	507,981	2,111,965	1,390,881	419,360
	教育研究経費	502,427	235,600	738,027	546,201	233,426
消費 支出の部	管理経費	113,152	33,683	183,369	112,030	37,944
	借入金利息	13,469	42,703	56,172	12,661	40,086
	その他	372	0	372	8,000	2,400
	消費支出の部合計	2,175,697	819,966	3,089,905	2,069,773	733,216
消費収支差額		100,283	△209,781	△205,242	142,773	△193,698
帰属収支差額		114,717	△97,134	△71,991	288,319	△98,326
参考（減価償却額）		231,383	111,755	349,691	229,150	111,821
						347,503

\*1 基本金組入額は、消費に充てられない固定資産支出と借入金返済支出を予め収入から除くものです。

\*2 学園合計には大学、高校の他に法人部門の数値を含むため、合計が一致するとは限りません。

参考（減価償却額）

■ 2005年度決算（帰属収入による）



【表2】事業別集計（目的別分類）

教育研究経費+管理経費	2005年度決算		2006年度予算	
	大学	高等学校	大学	高等学校
研究費	61,257	0	71,639	0
教育研究援助費	50,858	19,621	76,416	16,522
情報処理教育研究費	23,229	12,280	20,280	12,134
学術情報資料充実費	18,484	801	21,086	943
キリスト教教育	653	312	1,222	265
国際交流関係費	3,381	2,802	4,128	2,200
教育研究事務費	17,028	3,899	16,701	3,735
小計	174,890	39,715	211,472	35,801
奨学援助費	1,000	48,900	1,000	51,086
学生生徒生活援助費	2,011	308	3,333	320
就職相談費	6,735	0	6,665	0
学生生徒健康管理費	2,586	343	2,850	450
学生生徒福利厚生設備	6,670	982	3,082	120
学生事務費	438	0	450	0
小計	19,440	50,533	17,380	51,976
入試費用	2,643	1,082	4,337	1,045
募集広報費	59,038	9,164	59,384	7,691
事務管理費	1,424	0	861	0
小計	63,105	10,246	64,582	8,736
修繕整備充実費	5,734	4,560	8,316	3,698
施設設備維持管理費	31,709	12,185	39,503	13,823
光熱水費	30,548	18,948	31,047	19,158
通信費	2,225	683	2,263	696
小計	70,216	36,376	81,129	37,375
経営事務費	54,759	20,267	52,624	17,414
自己点検評価・満足度調査費	888	0	234	0
教職員健康管理費	898	390	1,871	447
小計	56,545	20,657	54,729	17,861
減価償却費	231,383	111,755	229,150	111,821
合計	615,579	269,282	658,442	263,570

### ◆先行投資の影響を脱しつつあります。

聖隸学園は、私学を取り巻く経営環境や社会のニーズの変化を先取りして、2000年度から新規事業と設備投資を集中的に展開してきました。これによって教育研究環境は格段に整備向上しました。すべての学部が完成するのは2007年度であり、2005年度決算はまだこの影響を一部残していますが、収支のバランスがとれる一步手前まで回復しています。

### ◆中長期財務計画を策定して、決算を検証し予算の指標としています。

財務計画は中長期計画を策定し、今後5年間の見通しについて毎年見直しする中で決算と比較検証し、また予算編成の指標としています。完成年度の2007年度には人件費比率60%、教育研究経費比率25%、消費支出比率92%とすることを目標にしています。

### ◆2005年度決算の収支差額は△7200万円まで回復しました。

中長期財務計画上は2004年度と2005年度が最も厳しい年度でしたが、2005年度決算では計画より1年前倒しで回復傾向に転じ、また資金も増加に転じました。2005年度の収入（帰属収入）は法人全体で30億1790万円、支出は30億8990万円、収支差額は△7200万円でした。その内訳は【表1】の通りです。また支出のうち教育研究経費と管理経費を事業別（支出の目的別）に見ると、その用途は【表2】の通りです。

### ◆大学の学部は完成年度に向かっており、安定化しています。

収支を部門別・学校別に見ると、大学の新設学部は着実に完成に向かっています。社会福祉学部は5年目の今年度に消費収支がプラスに転じ、リハビリテーション学部は4年目の2007年度にプラスに転じる見通しです。大学の未完成状態を支えてきた看護学部は安定しており、大学全体としてバランスの取れた財務状況になりつつあります。

### ◆高等学校はグランドデザインに基づき学校改革が進んでいます。

高等学校は、2003年度の校舎新築全面移転を機にグランドデザイン「21世紀躍進プラン」を策定し実施に移しました。教育力・進学実績・退学率は急速に向上し、2005年度の入学者数は4年ぶりに定員を上回りました。また今年度からは英数科を新設し、2007年度は2クラス定員となります。財務上は減価償却費の増加と借入金負担が大きく、また特待生奨学費がここ数年増加しています。奨学費の削減計画を詰める一方で現在の活力を削ぐことのないよう、収支改善計画を策定しています。

◆2006年度予算は教育研究援助費を厚く計上しました。収支はプラスに転じます。2006年度予算は中長期財務計画を指標とし、2007年度に収支を合わせることを前提として編成しました。財務改善の一方で教育研究の活性化を一層促進できるよう、特に教材や実習関係予算および研修予算を厚く計上しています。収入（帰属収入）は法人全体で29億9290万円、支出は29億830万円で、収支差額は8460万円のプラスとなる見通しです。

◆収支は計画を上回って改善しており、今後の新規事業計画に向けてさらに財務の健全化を進めます。

財務状況は中長期計画を上回って改善に向かっています。これまでの集中的な先行投資によって向上した教育研究環境を財産として、2008年度に計画している大学院博士後期課程設置他の新規事業計画に向けて、すでに見え始めた財務構造の健全化を一層進めたい考えです。

なお、2005年度決算、2006年度予算ともに詳しくはホームページをご覧ください。（<http://www.seirei.ac.jp/gakuen/>）